

「YUASAと日本電池の経営統合について」

平成16年2月13日

目次

I 経営統合の概要

1. 経営統合の背景
 - (1) グローバル競争の激化
 - (2) 厳しい国内鉛蓄電池市場
 - (3) 電池の新たな潮流
 - (4) 成長する次世代電池
2. 経営統合の狙い
 - (1) 経営革新
 - (2) 海外事業展開（点から面へ）
 - (3) 海外事業展開（点から面へ）
 - (4) 技術を軸とした新市場・新事業への挑戦
3. 統合の概要
 - (1) 経営統合の基本スキーム
 - (2) 統合のスケジュール
 - (3) 持株会社の概要（予定）
4. 経営理念と経営ビジョン

II 経営革新と事業拡大戦略

5. 組織体制
 - (1) 経営体制
 - (2) 組織改革のポイント
6. 経営革新
 - (1) 国内事業体制の再構築（生産拠点）
 - (2) 国内事業体制の再構築（販売・サービス拠点）
 - (3) 徹底した合理化によるコスト競争力の再生
7. 事業拡大戦略
 - (1) 経営戦略
 - (2) 中核事業 ①海外事業展開～アジア戦略
 - (3) 中核事業 ②海外事業展開～アジア戦略
 - (4) 中核事業 ③次世代自動車用鉛蓄電池技術
 - (5) 中核事業 ④次世代自動車用鉛蓄電池技術
 - (6) 戦略事業～次世代技術
 - (7) 戦略事業～燃料電池
 - (8) 業績目標数値
8. サマリー

I. 経営統合の概要



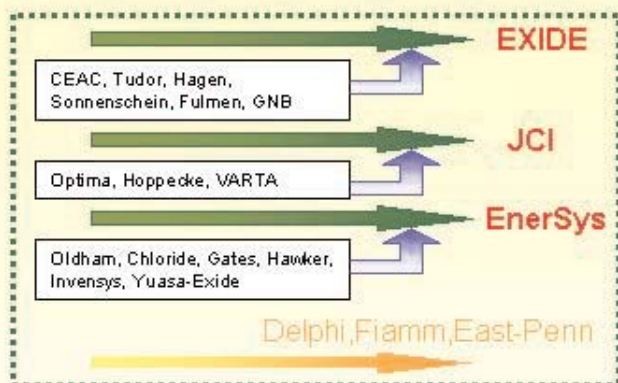
プレゼンター
日本電池株式会社 代表取締役社長
(持株会社 代表取締役会長)
村上 晨一郎



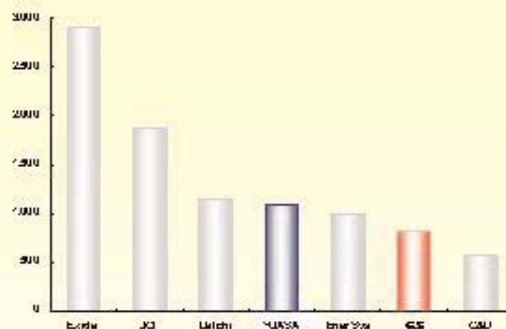
経営統合の背景

- (1) 競争の激化
- (2) 電池の新たな潮流
- (3) 成長する次世代電池

海外メーカーの合従連衡



世界鉛蓄電池売上高ランキング(2002年度)



統合により



鉛蓄電池の用途別売上高と市場規模

	自動車	二輪	据置	電気車	SLA	合計
ジーエス・ユアサ	981	319	203	140	267	1,910
シェア	12.4%	38.9%	8.5%	11.7%	25.4%	14.3%
順位	4位	1位	4位	3位	1位	2位
市場規模	7,930	820	2,400	1,200	1,050	13,400

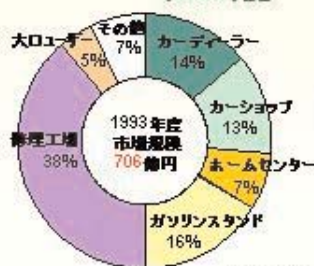
補修市場の電池価格

日本の自動車用鉛蓄電池単価の推移

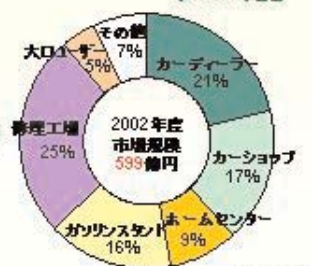


補修市場のチャネル構成の変化

国内補修市場のチャネル構成比 (1993年度)



国内補修市場のチャネル構成比 (2002年度)



次世代自動車の流れ

環境	ハイブリッド自動車 (HEV)	Prius Insight (ニッケル水素電池)	Estima Civic	New Prius	高性能ニッケル水素電池 リチウムイオン電池 (キャパシター)
	マイルドHEV	Crown (36V鉛蓄電池)			
	アイドリングストップ	バス・トラックで 拡大中 (鉛蓄電池)	技術転用 鉛蓄電池 +制御システム		リチウムイオン電池
	燃料電池 (FC)	自動車メーカー各社で開発 【併用される電池】 ニッケル水素電池、キャパシター			リチウムイオン電池 (キャパシター)
快適安全	By-Wire	今後、急速に拡大 鉛蓄電池2個 +制御システム		リチウムイオン電池 (キャパシター)	

世界二次電池市場全体の推移と今後の見通し



経営統合の狙い

- (1) 経営革新
- (2) 海外事業展開 (点から面へ)
- (3) 技術を軸とした新市場・新事業への挑戦

国内事業体制の再構築

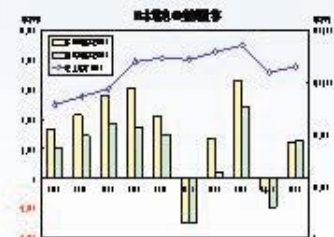
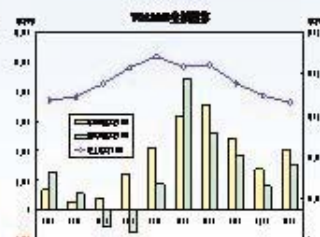
- ①(生産)国内生産拠点数を削減
⇒価格競争力のある海外へシフト
- ②(販売)国内10販社を2社に
⇒自動車用及び産業用で各1販社
- ③ビジネスモデルの再構築
⇒SCMの徹底、流通の短縮

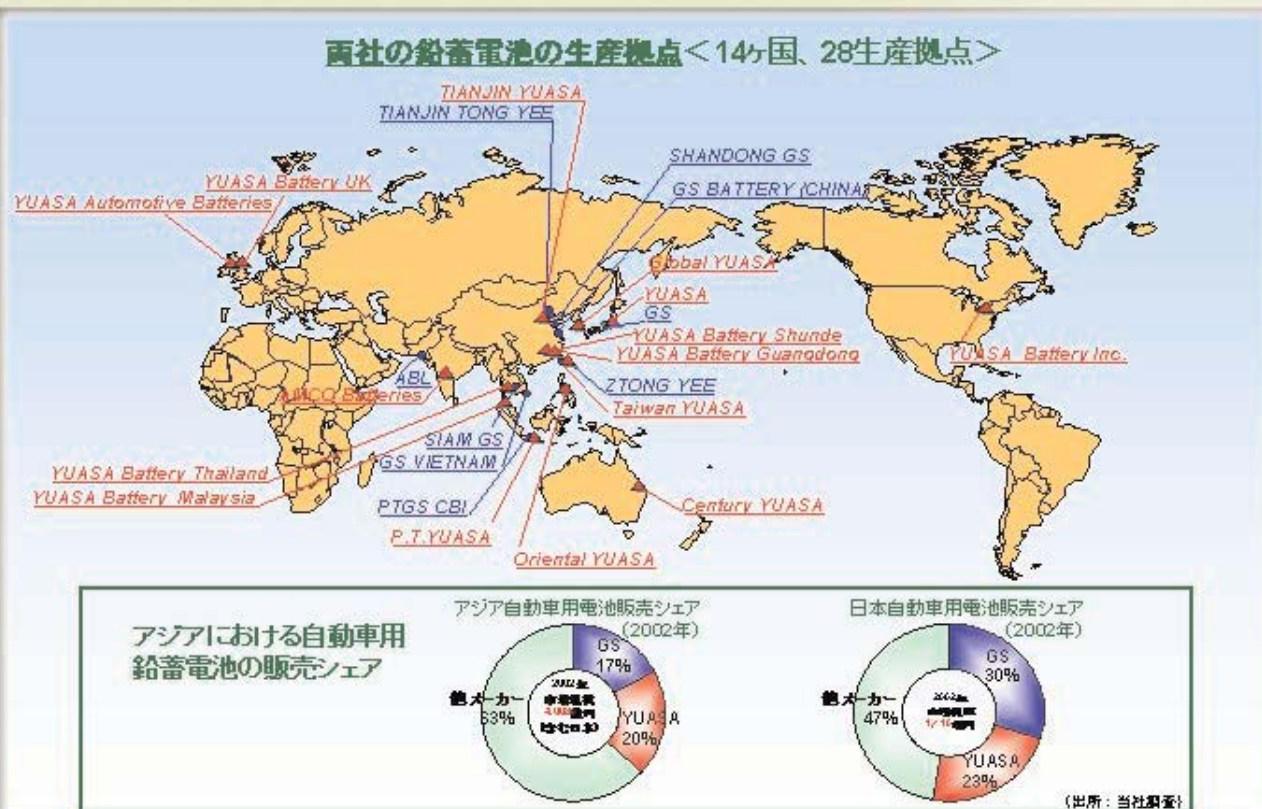
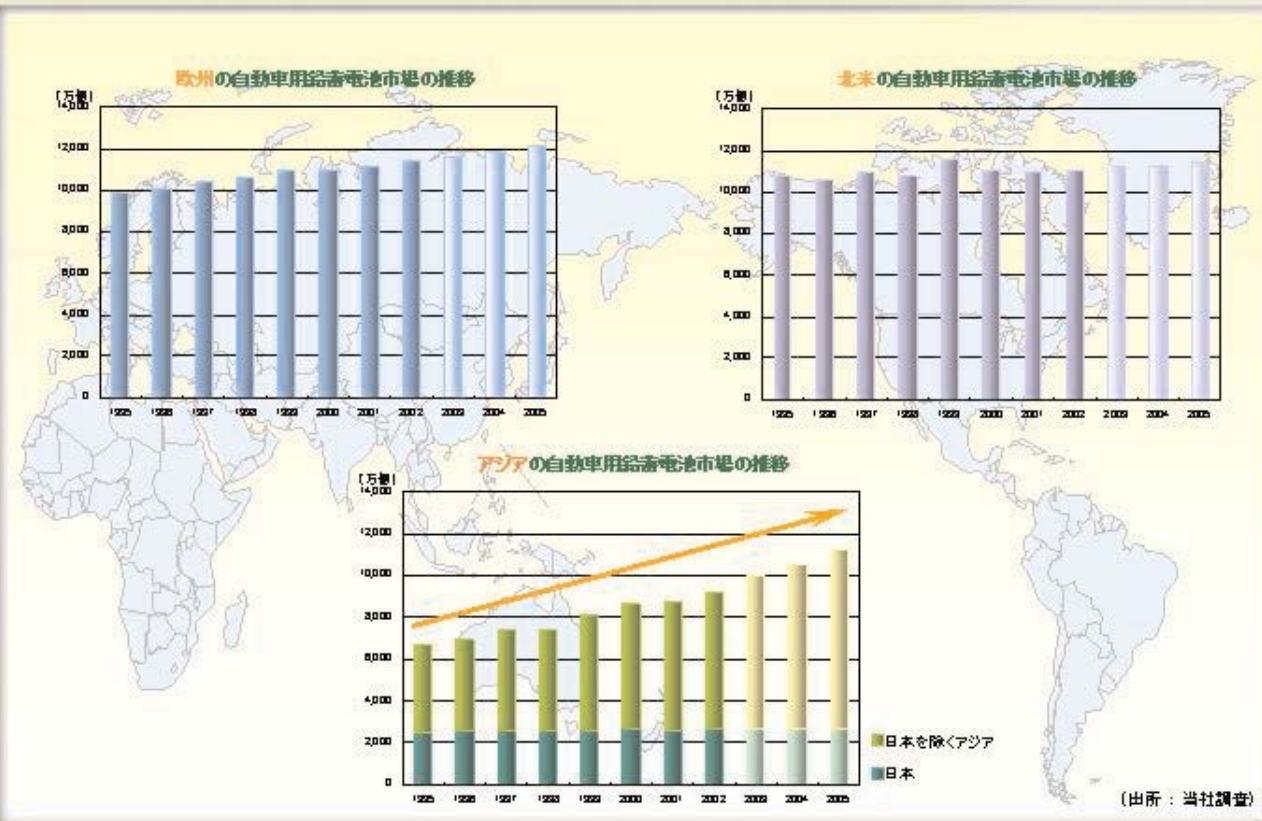
- 徹底した合理化によるコスト競争力の再生...
- ①調達コストの削減(3年間で100億円)
 - ②物流コストの削減(3年間で10億円)
 - ③借入金の削減(年間100億円)
 - ④人員効率化(3年間で400名)
 - ⑤生産コストの削減

2007年3月期の見通し

売上高目標 2,600億円
 営業利益目標 130億円
 (営業利益率 5.0%)

(ご参考)





次世代自動車に求められる電池

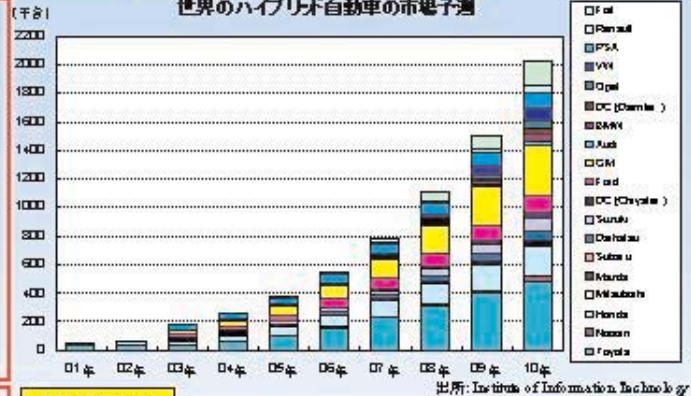
ハイブリッド自動車



三菱自動車
ハイブリッドバス



ハイブリッド自動車用
リチウムイオン電池



トヨタ自動車
クラウンマイルドハイブリッド



36V密閉型(制御弁式)
鉛蓄電池

燃料電池車



FC車



燃料電池搭載の二輪車(ヤマハ製)



ハイブリッド自動車用ニッケル水素電池



FCスタック

統合の概要

ステップ1:

株式移転により共同で持株会社を設立し、
両社を完全子会社化

株式会社 ジーエス・ユアサ・ホールディング
持株会社

100% YUASA

100% 日本電池株式会社

ステップ2:

会社分割により事業統合・再編

株式会社 ジーエス・ユアサ・ホールディング
持株会社

㈱ ジーエス・ユアサ マニュファクチャリング

㈱ ジーエス・ユアサ バッテリー

㈱ ジーエス・ユアサ パワーサプライ

㈱ ジーエス・ユアサ テクノロジー

㈱ ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクス

㈱ ジーエス・ユアサ インターナショナル

㈱ ジーエス・ユアサ ビジネスサポート

㈱ ジーエス・ユアサ インフォメーション

㈱ ジーエス・ユアサ アカウンティングサービス

YUASA

日本電池 ㈱

平成15年

7月 7/11 経営統合基本合意書締結

8月

9月 9/12 共同株式移転契約書締結

10月

11月

12月 12/12 臨時株主総会開催

平成16年

1月

2月

3月 3/26 YUASA、日本電池各株式の上場廃止日(予定)

4月 4/1 ステップ1:株式移転、共同持株会社設立、持株会社上場(予定)

5月

6月 6/1 ステップ2:事業子会社設立(予定)

商号	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
本店所在地	京都市 持株会社の本社は京都市及び東京都
資本金	150億円
代表者	代表取締役会長 村上 晨一郎 代表取締役社長 大坪 愛雄 両者は持株会社のCo-CEOに就任予定
決算期	3月31日

経営理念 革新と成長

新たなビジネスモデルにより高収益を実現し、人材の育成と次世代技術への積極投資により持続可能な成長を目指す。

経営ビジョン 顧客価値の創造による企業価値の向上

常にお客様の期待を超える性能・品質の商品を提供し続け、世界で最も信頼されるメーカーを目指す。